

第64回 日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会 終わる

第64回日本PTA全国研究大会が8月20日～21日、徳島市など徳島県各地で開催されました。

「徳島発！ 渦巻く力を これからの社会に巣立つ子どものために～まけまけいっぱい
愛を注ぎ込もう！～」をスローガンに掲げ、○家庭と学校の連携のもとに地域社会全体の
教育力を生かしたPTA活動 ○健やかな体と思いやる心をもつ子どもを育てるPTA活
動 ○大人がともに学び交流し合えるPTA活動 をメインテーマに様々な視点から議論
しました。

初日は、7会場で分科会を開き、開会式と基調講演、パネルディスカッションを行いました。
二日目は全体会が行われました。北海道PTA連合会からの参加者の感想を掲載します。

第2分科会（家庭教育・健康安全）

「食育を通して健やかな子どもを育てるPTA活動のあり方」を研究課題に「阿波踊り」
のアトラクションに続いて、料理研究家の浜内千波氏による「子供たちにとっての食べるこ
との大切さ」と題した基調講演がありました。「朝ご飯、夜ご飯の役割」、「野菜の大切さ」、
そして「家庭の食事を見直す時期」、「親が子供を思う気持ちが大切」であることを豊富な経
験からユーモアを交えて話され、あっという間に時間が過ぎました。いつのまにか自分の食
生活を見直し、家庭の食事について考えさせられました。

パネルディスカッションを通し、「生活習慣の確立」が課題であり、「中高生に力を入れて
いきたい」という食育の方向性を改めて認識しました。

特別第1分科会（日本PTA全国協議会担当）

会場の1500席はほぼ満席でした。基調講演は、女優の水野真紀氏が「コミュニケー
ション再考～人生の折り返し地点より～」をテーマに、コミュニケーション力の重要性に
ついて語られました。自身の芸能活動においてスタッフや共演者とコミュニケーションを
図る際、笑顔と身だしなみ、そして感謝の言葉が大切であること、また、自身も小学5年
生の保護者という立場から子どもとの関わり方についても述べられました。後半は「子ど
もたちを取り巻く課題の解決に向けて～人と人との結びつきとコミュニケーション力～」
をテーマにパネルディスカッションがとり行われました。ネットのセキュリティの脆さ
や、SNS等に潜む危険性について議論され、課題解決には必要なことはフェイス・トゥ・
フェイスのコミュニケーションでは、という話が出ました。

全 体 会

21日の全体会は、徳島県阿波踊り協会の阿波踊りで始まりました。

日P会長の挨拶、PTAの歌と開会式は進み、次期開催地仙台のPRでは開催に向けての力強い思いを会員は感じたと思います。

記念講演は竹宮恵子氏から「輝く未来をひらくために大切なこと」と題して始まり、講演の中で自身も漫画家を目指して大学を中退し、上京した経験の中から「親は、子どもが何に価値を見いだしたのか想像力を働かせ、一人の人間として接することが大切」と話し、子どもの進路選択は親の価値観だけで判断してはいけないと説明を受けました。

私たち親が、子どもに対してもっている思いや接し方を考えさせられる貴重な講演でした。